

福祉はひとつ

青森県労働者福祉協議会

組織名 青森県労働者福祉協議会(略称:青森県労福協)
 代表者 塩谷 進
 所在地 〒030-0802 青森市本町3-3-11 青森県労働福祉会館内
 TEL:017-722-1668 FAX:017-775-3752
 設立年月日 1964年3月13日
 目 的 この協議会は、会員の強固なる団結と相互扶助の精神により、
 主として青森県における労働者への福祉活動を総合的に推進し、
 あわせて社会保障制度の確立に寄与することを目的とする。

60
 1964
 ↓
 2023
 Anniversary
 th

結成60周年記念誌

働く人と、共に歩む



目 次

発刊にあたって 01
 青森県労働者福祉協議会 会長 塩谷 進

 祝 辞 02
 労働者福祉中央協議会 会長 芳野 友子
 青森県 知事 宮下 宗一郎

 青森県労福協50年の歩み 03

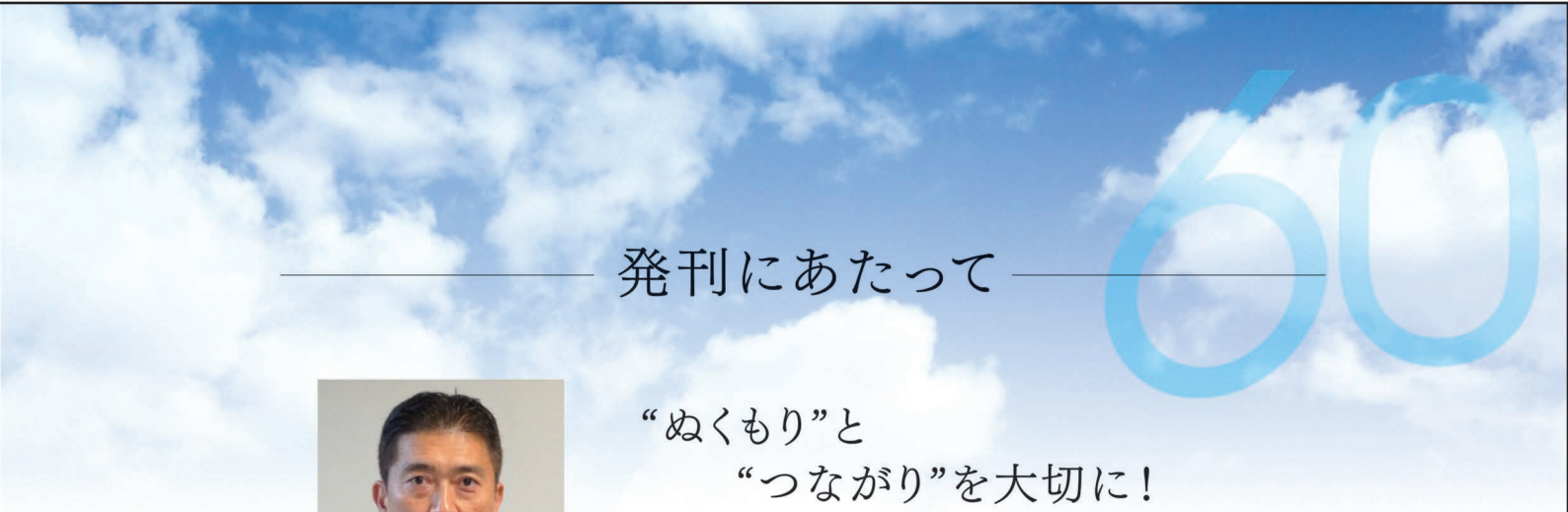
 青森県労福協2014年～10年の歩み..... 04

 地区労福協活動(6地区) 10
 ●東青地区労福協 ●津軽地区労福協
 ●三八地区労福協 ●西北五地区労福協
 ●上十三地区労福協 ●下北地区労福協

 加盟団体紹介 12
 ●日本労働組合総連合会 青森県連合会(連合青森)
 ●東北労働金庫青森県本部
 ●こくみん共済coop＜全労済＞青森推進本部
 ●青森県生活協同組合連合会(青森県生協連)
 ●一般財団法人青森県労働福祉会館

 役員名簿(10年間) 15

 労福協とは 16



発刊にあたって



“ぬくもり”と
“つながり”を大切に！

青森県労働者福祉協議会
会長
塩谷 進 （連合青森会長）

青森県労働者福祉協議会は、2024年3月で結成60周年を迎えました。この間、ご尽力いただきました諸先輩方、日頃からお世話になっている福祉事業団体はじめ多くのご支援・ご協力をいただいているすべての皆様に感謝とお礼を申し上げます。

青森県労福協は、「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくります」の理念のもと、労働者福祉事業団体の利用促進に向けた活動、生活・就労支援事業を推進するチャリティー活動、ライフサポートセンターによる生活なんでも相談など、加盟団体と連携し地域によりそった取り組みを進めてきました。

しかし、私たちのおかれている全体の状況は、新型コロナウイルス感染症が、「5類」に引き下げられたものの、物価高が続き社会経済活動の回復が遅れ、貧困や格差が拡大していること、昨今の地震・台風など自然災害が多発し多くの甚大な被害が発生していること、ロシアによるウクライナの軍事侵攻をはじめ国際紛争が多発し平和が脅かされています。

このような状況の中で、公助の在り方の見直しや共助の力の発揮が求められていることから青森県労福協は、「貧困や社会的排除がなく、人と人とのつながりが大切にされ、平和で安心して働き続けられる持続可能な社会」の実現に向け、今まで以上に取り組みを強化していくこととします。

これまで、これからも「支え合い・助け合う地域共生社会づくり」に向けて「福祉はひとつ」の合言葉のもと、人と人の“ぬくもり”が感じられる、人と人の“つながり”を大切にしながら運動を進めていきます。

引き続き、青森県労福協に対するご支援・ご協力をお願いいたします。

祝 辞

青森県労働者
福祉協議会の結成
60周年に寄せて労働者福祉中央協議会
会長

芳野 友子



このたび、青森県労働者福祉協議会が結成60周年の節目を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。また、日頃の中央労福協への多大なるご支援・ご協力に厚く御礼申し上げます。

貴協議会は、会員の強固な団結と相互扶助の精神により、青森県において労働組合と福祉事業団体の連携のもと、労働者自主福祉運動を進めてこられました。これまで労福協運動のバトンをつないでこられた歴代の役職員をはじめ、関係者の皆さまのご尽力に心から敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症の拡大は国民生活を一変させ、格差や貧困、社会の分断が深刻化し、コロナ禍以前から抱えていた日本社会の脆弱性が次々と浮き彫りになりました。感染症法上の位置付けが5類に移行され社会経済活動の回復は進みつつありますが、ただ単にコロナ前の状態に戻すのではなく、更により良い社会とすべく、労働者自主福祉運動をはじめとする労福協の役割を中央や地域で発揮するとともに、公的セーフティネットの強化を継続して求めていく必要があります。

「つながる・寄りそう・支え合う」をキーワードに、地域でネットワークを広げ、「2030年ビジョン」の実現をめざして、「今こそ、労働者福祉運動の出番」との気概を持ち、ポストコロナ社会に向けてともに前進していきましょう。

貴協議会の60年にわたる活動の貴重な歴史と経験をもとに、今後、ますますご発展されることを心より祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

青森県労働者
福祉協議会結成
60周年に寄せて

青森県知事

宮下 宗一郎



青森県労働者福祉協議会が結成60周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴協議会は、昭和39年に結成されて以来、長きにわたり、労働者への福祉活動の総合的な推進や社会保障制度の確立に多大な貢献をしてこられました。

これもひとえに、塩谷会長をはじめ、歴代の役員並びに会員の皆様の御尽力の賜物であり、深く敬意を表します。

さて、現下の国際情勢等を背景とした物価・燃料費高騰の影響により、地域経済を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。人口減少社会を乗り越え、持続的成長を続けていくためには、深刻化・複雑化する社会経済環境の変化に的確に対応し、生業の維持・回復を図ることが重要となります。

このため、青森県では、2040年における本県の「めざす姿」を、「若者が、未来を自由に描き、実現できる社会」とし、その実現に向けて最も重要となる県民の所得向上を図りながら、少子化、若者の定着・還流、県民の健康づくりなど、長年にわたり本県が抱える課題の解決を目指していきます。

県民一人ひとりの思いに寄り添い、本県が有する価値や魅力を未来につないでいくため、新たな時代を切り拓く挑戦を続けていきますので、皆様のより一層の御支援と御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

結びに、このたびの結成60周年を契機として、青森県労働者福祉協議会がますます御発展されますことを祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

青森県労福協50年の歩み(50周年記念誌抜粋)

青森県労働者福祉協議会は、1964年(昭和39年)3月13日に県労会議・地方同盟・労働金庫・労住生協・県生協連・県労済の6団体によって、労働運動のナショナルセンターである県労が呼びかけて設立されました。

当時は、労金運動をはじめとする自主福祉活動が労働者の連帯意識を高め、未組織労働者の組織化に大きな役割を果たしてきたこともあり、労働組合と事業団体の恒常的な協議体を持ちながら本格的な活動に取り組むために、準備委員会を発足してスタートしました。

また、2014年には青森労福協結成50周年の節目を迎え、翌年の2月に開催された研究集会で「佐川礼三郎氏の協議会結成50周年記念講演」をいただき、6月29日には「結成50周年記念レセプション」を県知事や顧問の皆様と各加盟事業団体の役職員の参加で開催されました。

趣 意 書

社会保障制度の確立と労働福祉の問題は、保険から保障への合義で表現されるように、労働者は権利として要求し、国又は企業家は義務として、その政策の中で成いは施設として拡充強化しなければならないことは、最早世界各国の常識となってきました。

戦後わが国でも労働組合の広範な組織の結成と団体交渉の一般化によって、労働者の発言と地位は著しく高まり、福祉の要求は賃金要求とともに、労働者の権利として確認され、一方労働基準法の制定と社会保険法の改正は、法定福祉の実施を企業家に義務づけ、国は又社会保障制度の確立と労働福祉の近代化に責任を負うことになりました。しかし、労働福祉の概念は極めてばく然としておるため各界のうけとり方もマチマチであり、従ってその考え方や意図が微妙に作用し、政府は自らの政治路線の中で問題を捉え、諸政策遂行の手段に供し、企業家は労務管理、企業意識の培養、職制支配の支柱として利用しているのが現状であります。

労働組合もかつてはこの問題を二義的に考えたり、賃上げや基本的労働条件の斗争を弱めるものとして、福祉活動を活発にすることをあまり歓迎しませんでした。ところが、その後政府や企業家のこの問題に対する取扱方の変化や長い斗争の経験と、それにもまして労金運動を始めとし、労済、労住生協などの自主的福祉活動が労働者連帯意識を高め、未組織労働者の組織化に大きな役割を果たして来た事実を高く評価し、じまこの活動と本格的に取組む気運が昂ってきました。組合はいま合理化と首切りの嵐の前に立たされ、これをはね返すため統一と団結の強化、企業意識から組合意識への転換、地域労働者住民の共闘強化、未組織労働者の組織化、更に進んで企業別組合から産業別組合への脱皮が強く要請されております。これら当面する諸問題解決のため、組織と事業団体は一層有機的に密着を深め

① 政府や地方自治体に対し、社会保障や福祉施策の要求斗争の統一を図り、

② 官制福祉、企業内福祉の実態調査と対策を確立し、

③ 労働金庫を始めとし、労働者の自主的福祉活動の充実強化

を図るため、恒常的協議体をもつことが必要となりました。

既に中央に中央労福協、地方に三十三の地方労福協の結成をみ、それぞれ活動を展開致しております。本県においても早急に結成する必要を痛感し、準備委員会をつくり発議することと致しました。

1964年	3月 13日	青森県労働者福祉協議会結成総会
1971年	2月 12日	中央労福協加盟
1979年	10月 25日	三八地区労福協結成総会
1980年	11月 26日	五所川原地区労福協設立総会
	12月 23日	東青地区労福協設立総会
1981年	8月 27日	十和田地区労福協設立総会
	10月 27日	南黒地区労福協設立総会
	12月 19日	三沢地区労福協設立総会
1996年	2月 15日	第1回労働福祉学校
	12月 26日	南黒地区労福協解散総会
1997年	3月 26日	三沢地区労福協解散総会
2005年	12月 9日	青森県労住生協解散総会
	12月 13日	青森県労働福祉会館新築落成式典
2008年	1月 15日	第1回「労福協ライフサポート検討委員会」
	10月 27日	ライフサポートセンターあおり設立総会
2014年	6月 30日	第50回青森県労福協通常総会
2015年	6月 29日	青森県労福協結成50周年記念レセプション



2015年6月発行

青森県労福協 2014年～10年の歩み

2014年度

2014年6月30日(月)

第50回通常総会

ハートピアローフク 4F 大会議室

【メイン・スローガン】

連帯・協同で安心・共生の
福祉社会をつくろう！

〈サブ・スローガン〉

- 労働組合と福祉事業団体の連携をはかり
職域・地域の「福祉ネットワーク」
「ライフサポート活動」を広げよう！
- 環境・年金・医療・介護の諸制度の改善を
はかり「安心できる長寿社会」をつくろう！
- 絆でつながる助け合いの輪を
復興・再生につなげよう！
- 地区労福協の力量を高め、
「ゆとりある福祉社会」を実現しよう！

2014年12月25日(木)

合同忘年会

ハートピアローフク (参加者63名)



2015年2月26日(木)

県労福協研究集会

ハートピアローフク (参加者101名)

青森県労福協結成50周年記念講演

「労働運動の先駆者に学ぶ」

講師：佐川禮三郎氏 (顧問)

※講演内容は50周年記念誌に記載



2015年3月24日(火)

連合事業団体 協力委員会 合同会議



おもな
出来事

- 4月 消費税を5%から8%に引き上げ 6月 富岡製糸工場が世界文化遺産に登録 8月 エボラ出血熱の流行に対しWHOが緊急事態宣言
9月 御嶽山が噴火(噴火警戒レベル3となる) 11月 日中首脳会談一約3年ぶり 3月 北陸新幹線の開業区間が東京-金沢区間に延伸

2015年度

2015年6月29日(月)

第51回 通常総会

ハートピアローフク
4F 大会議室



事務局長交代
永きにわたって
担当してきた
河野事務局長から、
相馬新事務局長へ！

2015年8月24日(月)

チャリティー ゴルフ大会

八甲田ビューカントリークラブ
(参加者36名)

チャリティーカンパ12.1万円！



2015年10月30日(金)

県労福協研究集会

ハートピアローフク (参加者97名)

奨学金をメインとした内容で開催

講師：奨学金問題対策全国会議共同代表
「中京大学大内裕和教授」



2015年12月24日(木)

合同忘年会

ハートピアローフク

ジャンケン大会による

チャリティー金7.2万円！



2016年3月14日(月)

チャリティー基金贈呈式

結成50周年記念事業の一環として「障害福祉サービス
及び生活・就職支援事業を営む社会福祉法人5事業所」
に合計50万円を贈呈！

＜寄贈先＞・社会福祉法人極光の会「玄輝門」／南津軽郡藤崎町
・社会福祉法人西育友会「ワークランド」／弘前市自由が丘
・社会福祉法人聖康会「さくら園」／弘前市独狐
・社会福祉法人抱民舎「であいの家あうん」／弘前市高屋
・社会福祉法人みやぎ会「大石の里」／弘前市百沢



おもな
出来事

- 5月 箱根山に火口周辺警報(噴火警戒レベル2) 5月 大阪都構想が住民投票で否決される 7月 米国とキューバが54年ぶりに国交回復を合意
7月 新国立競技場の計画が白紙に 10月 マイナンバー(個人番号)の通知がはじまる 3月 北海道新幹線が開業

青森県労福協 2014年～10年の歩み

2016年度

2016年5月30日(月)

第52回通常総会

ハートピアローフク 4F 大会議室

サブ・スローガン変更！

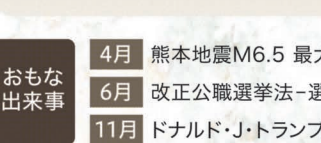
- 絆でつながる助け合いの輪を
復興・再生につなげよう！
- 若者を追い込む雇用劣化と
「奨学金」問題を改善しよう！
- 生活・就労支援を強化し、
生活困窮者自立支援制度を地域で
支えよう！
- みんなで労働者福祉事業を利用し、
共助の輪を地域に広げよう！

2016年10月3日(月)

チャリティーゴルフ大会

東奥カントリークラブ (参加者40名)

チャリティーカンパ15万円！



おもな
出来事

- 4月 熊本地震M6.5 最大震度7の地震 5月 G7伊勢志摩サミットが開催 6月 イチローが日米通算安打数でメジャー記録を抜く
6月 改正公職選挙法-選挙権年齢が18歳以上となる 7月 東京都知事に小池百合子が初当選
11月 ドナルド・J・トランプが米国第45代大統領に就任 2月 森友学園問題

2016生活底上げ・福祉強化キャンペーン

奨学金制度改善の取り組み

10月7日と12月5日市内百貨店前で、連合青森と連携！



利用促進に伴う「要請文書」

2016年11月30日(水)

県労福協研究集会

ハートピアローフク (参加者95名)

テーマ「短命県返上/職場・地域で出来ること・求めるもの」

講師 全国健康保険協会青森支部・高田信也氏

2016年12月26日(月)

合同忘年会

ハートピアローフク

ジャンケン大会による

チャリティー金7.4万円！

2017年度

2017年6月7日(水)

第53回通常総会

ハートピアローフク
4F 大会議室

2017年10月2日(月)

チャリティーゴルフ大会

八甲田ビューカントリークラブ (参加者46名)

チャリティーカンパ14.1万円！



2017年11月14日(火)

県労福協研究集会

テーマ

「福祉事業団体の現状と課題～私たちは何ができるか～」(参加者85名)

【演題・講師】

- ①多重債務の現状と課題/
沼田徹顧問弁護士
- ②全労済創立60周年～これから～/
米沼一夫全労済青森推進本部長
- ③生協が取り組む健康づくり/
三浦雅子青森県生活協同組合連合会
事務局長



2017年12月25日(月)

合同忘年会

ハートピアローフク
ジャンケン大会によるチャリティー
金6.5万円！



2017年8月3日(木)～4日(金)

中央労福協ブロック 会長・事務局長会議

青森市で開催！



おもな
出来事

- 4月 フィギュアスケート女子の浅田真央が現役引退 6月 神奈川県あおり運転受け家族4人死傷事故発生
6月 上野動物園でパンダ赤ちゃんが誕生 10月 第48回衆議院議員総選挙 自民党圧勝 12月 羽生善治が史上初の永世七冠となる
12月 大谷翔平が大リーグのエンジェルスに入団 1月 群馬県白根山が噴火し1人が死亡、11人が負傷

青森県労福協 2014年～10年の歩み

2018年度

2018年6月11日(月)

第54回通常総会

ハートピアローフク 4F 大会議室

【メイン・スローガン】

連帯・協同で安心・共生の
福祉社会をつくろう！

〈サブ・スローガン〉変更！

- 絆でつながる助け合いの輪を
復興・再生につなげよう！
- 労働者自主福祉運動の推進で、
地域に共助の輪を広げよう！
- 教育費負担を軽減し、
だれもが安心して学べる社会を実現しよう！
- 貧困や排除のない社会をめざして、
生活・就労支援を強化しよう！

2018年9月3日(月)

チャリティー
ゴルフ大会

八甲田ビューカントリークラブ(参加者38名)

チャリティーカンパ12.3万円！



全国福祉強化キャンペーン

奨学金制度を改善し、教育費負担軽減につなげよう！

●2018年11月7日「全国一斉電話受付相談」

＊ライフサポートセンターあおもりと連携し、
敦賀前連合青森副事務局長およびアドバイザーを配置

2018年12月5日(水)

退職前セミナー

セカンドライフにおける「生きがい」や、マネープラン、
保障設計のポイント(参加者27名)

- 「年金・社会保障制度の概要と
退職後の保障設計」
講師：全労済青森推進本部
推進支援課 課長 三上 祐美子 氏



- 「リタイアメントのための資産形成」
講師：東北労働金庫青森県本部
課長 佐藤 竜 氏



2018年12月25日(火)

合同忘年会

ハートピアローフク
ジャンケン大会による
チャリティー金6.2万円！

2019年2月18日(月)

県労福協研究集会

人権尊重の重要性を考える研修(参加者66名)

●「人権侵害 ～今、悩みを抱えるあなたへ～」

講師：弘前人権擁護委員協議会 事務局長 田中 均 氏
弘前・西目屋地区部会長 外崎 祐一 氏

おもな出来事
5月 アメフト日大選手の危険タックル問題 6月 史上初めてとなる米朝首脳会談 7月 熊谷市で国内観測史上最高気温41.1度を記録
8月 競泳女子池江璃花子がアジア大会で6冠達成 9月 北海道胆振東部地震・震度7、M6.7、死者41名
10月 築地市場(中央区)が豊洲市場(江東区)へ移転 2月 天皇陛下御在位三十周年記念式典が開催

青森県労福協 2014年～10年の歩み

2019年度

2019年6月3日(月)

第55回通常総会

ハートピアローフク 4F 大会議室



2019年9月30日(月)

チャリティーゴルフ大会 八甲田ビューカントリークラブ(参加者38名)

チャリティーカンパ
14.6万円と
連合青森結成30年
記念事業協賛金
15万円を含め、
合計29.6万円！全国福祉強化
キャンペーン●連合青森構成組織の全産別訪問
「労働者福祉運動推進ファイル」の差替！

2019年12月24日(火)

合同忘年会

ハートピアローフク
ジャンケン大会
によるチャリティー金7万円！

2020年3月16日(月)

「チャリティー基金贈呈式」 青森県社会福祉協議会へ！

●内村会長、相馬事務局長が出席し、福祉施設5事業所・施設代表者参加



- 五所川原地域の
「障がい者福祉施設サービス小規模事業所」5ヶ所
- ・社会福祉法人あーと「はたらびーた」食材の製造
- ・特非法人ほほえみの会
- ・「就継支B事業所プラス」コーヒー豆焙煎
- ・(株)しあわせ農園「ステップ」しあわせ」椎茸生産
- ・社会福祉法人拓心会
- ・「就労センターステップ1」アパレル作業
- ・一般社団法人謙心会「拓」ピーマン生産

おもな出来事
4月 新元号「令和」を菅官房長官が発表 4月 退位の礼ー今上天皇(平成天皇、明仁)の退位 5月 皇太子徳仁親王が第126代天皇に即位
10月 消費税が10%となる(食料品などは8%) 12月 日経平均株価が2万3,656円となり1ドルは109円に
2月 新型コロナウイルスが世界的に流行 3月 東京オリンピックがコロナの影響で1年延期

青森県労福協 2014年～10年の歩み

2020年度

2020年6月9日(火)

第56回通常総会

ハートピアローフク 4F 大会議室



【メイン・スローガン】変更!

すべての働く人の幸せと豊かさをめざして
連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくらう!

2020年10月5日(月)

チャリティー
ゴルフ大会十和田湖高原ゴルフクラブ
(参加者44名)
チャリティーカンパ
14.4万円!

2021年3月5日(金)

県労福協研究集会

*2年ぶりに開催
「海洋プラスチック問題と地球温暖化」
講師: 青森県地球温暖化防止活動推進員
貝森 毅彦 氏おもな
出来事

4月 緊急事態宣言—コロナ対策、全都道府県に拡大

4月 国民一人当たり10万円の特別定額給付金を閣議決定

5月 全国で緊急事態宣言を解除

9月 野党が合併して立憲民主党(新党)が発足

9月 自民党の菅義偉が第99代内閣総理大臣となる

11月 大都市で時短・休業要請=新型コロナ

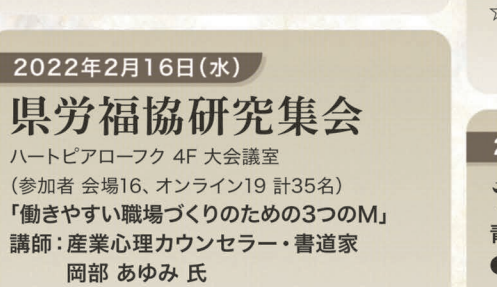
2月 医療者ワクチン接種始まる=新型コロナ

2021年度

2021年5月28日(金)

第57回通常総会

ハートピアローフク 4F 大会議室



県労福協研究集会

ハートピアローフク 4F 大会議室
(参加者 会場16、オンライン19 計35名)
「働きやすい職場づくりのための3つのM」
講師: 産業心理カウンセラー・書道家
岡部 あゆみ 氏

ハイブリット形式で開催!

ライフサポートセンターあおもり

10月1日から新たな受付体制!

*運営・事務所は青森県労福協

☆相談受付ダイヤル

0120-629-106(受付時間は10時から16時まで!)



2022年3月3日(木)

チャリティー基金贈呈式

青森県社会福祉協議会へ!

- 十和田地域の「障がい者福祉施設サービス 小規模事業所」5ヶ所
- ・社会福祉法人日々木の森「農園カフェ日々木」製菓、軽微農作
- ・アイデント株式会社「アイデント十和田」電子部品、制作・販売
- ・一般社団法人「HRPSとわだ作業所」漬物、干し柿作り
- ・社会福祉法人北心会「クリエイティブサポートぶちぶろう」焼き菓子製造
- ・社会福祉法人共生の社「多機能型事業所ベル・クオーレ」食品加工

おもな
出来事

4月 松山英樹がメジャー制覇=マスターズゴルフ

6月 9都道府県、緊急事態宣言解除=新型コロナ

7月 熱海で大規模な土石流発生

7月 東京オリンピック開幕

10月 岸田文雄内閣発足

11月 大リーグの大谷翔平、満票でMVP

3月 ウクライナ大統領が国会演説

青森県労福協 2014年～10年の歩み

2022年度

2022年5月23日(月)

第58回通常総会

ハートピアローフク 4F 大会議室

サブ・スローガン変更!

- 絆でつながる助け合いの輪を復興・再生につなげよう!
- 社会的セーフティネットを強化して貧困や分断をなくし、コロナ危機を乗り越えよう!
- 教育費負担を軽減し、だれもが安心して学べる社会を実現しよう!
- 労働者自主福祉運動の役割を発揮し、地域に共助の輪をひろげよう!

2022年7月23日(土)

チャリティーゴルフ大会

十和田湖高原ゴルフクラブ(参加者44名)
チャリティーカンパ14.4万円!おもな
出来事

4月 知床半島で観光船が沈没

7月 選挙応援演説中に安倍元首相、銃撃され死亡

9月 通園バス3歳女児死亡=車内5時間放置

10月 旧統一教会の調査=「質問権」初行使

10月 ヤクルトの村上宗隆、史上最年少で三冠王

3月 WBCで侍ジャパン、世界一

2023年度

2023年5月22日(月)

第59回通常総会

ハートピアローフク 4F 大会議室



2023年10月16日(月)

チャリティーゴルフ大会

十和田湖高原ゴルフクラブ(参加者54名)
チャリティーカンパ15.9万円!おもな
出来事

4月 日銀総裁に植田和男氏

5月 新型コロナ「5類」移行

8月 処理水、海洋放出開始=東電福島第1原発

9月 ジャニーズ性加害問題

10月 大谷メジャー本塁打王

11月 阪神38年ぶり日本一

12月 裏金疑惑、岸田政権を直撃

1月 能登半島地震最大震度7を観測

全国福祉強化キャンペーン

●11月9日(水)

福祉事業団体(ろうきん・こくみん共済)

Web学習会(参加者 会場7、オンライン28 計35名)

「マネートラブル・多重債務問題等の傾向と対策」 ろうきん青森県本部 課長 長谷川 信学 氏
「災害時無保障者の解消を目指す」 こくみん共済coop 業推部長 村井 健児 氏

2022年11月30日(水)

県労福協研究集会

環境問題をテーマに、ハイブリット形式で!
(参加者 会場26、オンライン21 計47名)
「地球温暖化・環境問題を考える
～うちエコ診断でできること～」
講師 一般社団法人 地球温暖化防止全国ネット
佐伯 朗彦 氏

2022年12月25日(日)

中央労福協

「ろうふくエール基金」助成事業

上十三地区労福協と連携し、
「十和田子ども食堂実行委員会」への支援!

*配膳などのお手伝いボランティアを実施!

全国福祉強化キャンペーン

●「労働者福祉事業団体Hybrit学習会」

【ろうきん編】

10月20日(金)

(参加者 会場16・

オンライン11 計27名)

「ライフプランセミナー」

ろうきん青森支店

次長 越田 進二 氏



【こくみん共済coop編】

11月15日(水)

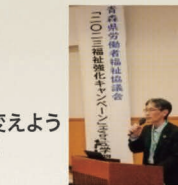
(参加者 会場10・

オンライン26 計36名)

「もしも」に備えて未来を変えよう

こくみん共済coop事進部

次長 佐々木 雅彦 氏



2023年11月16日(木)

中央労福協「ろうふくエール基金」贈呈式

「子ども食堂雀庵」に塩谷会長から贈呈!

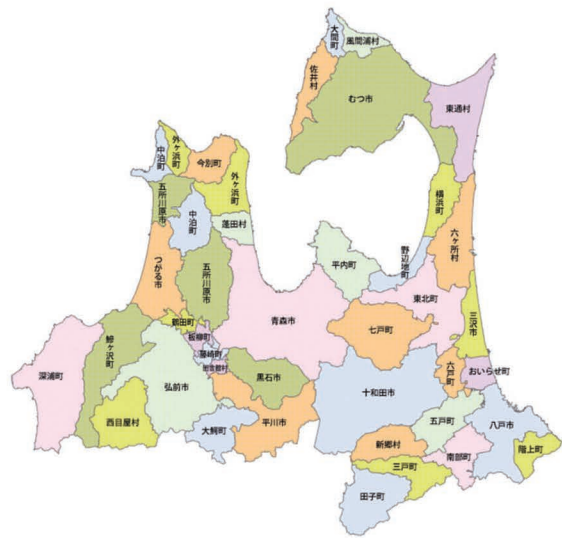


地区労福協活動

地区労福協は、青森県労福協の事業に協力いただき、地域で活動する組織で、現在青森県内には“6”あります。各地区労福協は、労働者の生活の安心・安全および社会の地位の向上に寄与することを目的として、次のような様々な福祉活動を推進しています。

- 構成地域である行政への政策制度要請、市町村の審議会・委員会への参加
- 各種セミナー（福祉セミナー・文化講演会など）の開催

その他、地区労福協ごとにボウリング大会、ボランティア活動、チャリティーコンペなど様々なイベントを開催しています。



東青地区労働者福祉協議会

代表：加藤 篤

〒030-0802 青森市本町三丁目3-11
ハートピアローフク3F 連合青森内

特徴的な活動

東青地区労福協は「『ゆとり・豊かさ』の実感できる社会の実現」の運動方針のもと、連合や市、実行委員会と連携し様々な環境保全活動に取り組んでいます。近年では青森県における主要海産物である「ホタテ」を海水の高温被害から守るための活動「陸奥湾の海と山をつなぐ植樹祭」へと積極的に参加しております。今後も青森県の誇るべき自然を守るために、地域とともに、支え合い・助け合いながら活動を展開していきたいと思ひます。



2019環境保全活動in平内町茂浦国有林

津軽地区労働者福祉協議会

代表：谷川 浩二

〒036-8052 弘前市大字堅田2丁目1-8
丸二ビルⅡ1階

特徴的な活動

津軽地区労福協は、社会福祉活動の一環として自然環境保護活動と、より良い暮らしの環境づくりのため毎年植樹活動を実施し、今年で30回目を迎えております。

その他、囲碁将棋大会やゴルフコンペなどをチャリティー開催し、社会貢献活動と会員間の親睦や交流を図っております。



2023
囲碁・将棋大会
弘前パークホテル



2023植樹祭
大森勝山遺跡付近・岩木山

三八地区労働者福祉協議会 (旧八戸地区)

代表：中村 一明

〒031-0081 八戸市柏崎6丁目30-5
三八地方労働福祉会館内

特徴的な活動

当地区労福協は、「世界一のしだれ桜並木ともみじ並木の環境整備事業」に対して、事業に係る経費の支援として、南郷観光協会に寄附をしております。(2015年までは苗木を寄附し、植樹を実施)

また、会員の健康増進の目的としたパークゴルフ交流会を開催しており、学習会の開催については、例年労働者福祉協議会の協力団体より講師を依頼し開催していましたが、今回は八戸学院大学に講師を依頼し、会員の皆さんと一緒に考えていく学習会にしました。今後の活動について、県労福協と連携し、労働組合と福祉事業団体が一体となり、福祉社会の向上、そして安心して暮らせる社会を目指し取り組んでまいります。



八戸美保野パークゴルフクラブ

上十三地区労働者福祉協議会 (旧十和田地区)

代表：太田 素直

〒034-0083 十和田市西三番町4-10
上北地方教育会館内

特徴的な活動

私たちは、上十三地域協議会と行動をとともにしながら地域の中で学習会やボランティア活動などの取り組みを行っております。

私たちが意識していることは、構成団体の取り組みと差別化を図り、参加者にとって満足感のある有意義な時間にと、また、活動の裾野を広げ、より多くの方に認知していただける活動を展開することです。

ここ数年連携いただいている十和田子ども食堂のボランティア活動などは、その趣旨に沿う貢献だけではなく、コミュニティを通じた様々な地域の人たちとの繋がりが派生するなど、予期していなかった嬉しい副産物をもたらしてくれています。

今後もバイアスを掛けず、様々なチャレンジをしていきたいと考えています。



2023ゴミ拾い活動 三沢市淋代海岸

西北五地区労働者福祉協議会 (旧五所川原地区)

代表：片山 勉

〒037-0073 五所川原市柳町57-7

特徴的な活動

西北五地区労福協では昨年、資産形成や保障設計をテーマに学習会を開催し、協同組合運動の推進に取り組みました。

環境問題では、毎年、小学校で「苔玉づくり」講座を実施し、子どもたちに緑の大切さを知ってもらうとともに環境意識に資するよう取り組んでいます。苔玉を載せるお皿には、「金山焼」を使い地域の特産品の周知にも一役かっています。また、連合西北五地域協議会と合同で海岸線のクリーンキャンペーンを実施しています。

チャリティーゴルフ大会は、ゴルフというスポーツを通じ社会貢献に取り組むことを目的に2014年から開催しました。2015年からは会員間の交流と活動を広げる観点から津軽地区労福協と共催で年2回開催しています。来年は10年の節目を迎えることから、記念行事についても検討したいと考えています。



2023苔玉づくり薄市小学校

下北地区労働者福祉協議会

代表：谷川 豪樹

〒035-0071 むつ市小川町一丁目4-19

特徴的な活動

当地区労福協は、ここ数年は、コロナ禍により活動できておりませんが、それ以前は、会員の皆さんが、製作した作品を持ち寄り、展示会を10年間にわたり「来さまい館」で開催してきました。クリーンキャンペーンとして、尻屋崎の海岸清掃、下北の豪雨災害時にはボランティア活動、緊急カンパなど、連合下北地協と合同で実施いたしました。また、地元の名産「べこもち」の調理教室、隔年開催のチャリティーゴルフコンペなど、幅広く活動しています。今後も下北の社会貢献活動へ積極的に取り組んでまいります。



2022
チャリティー
ゴルフコンペ

加盟団体紹介

日本労働組合総連合会 青森県連合会（連合青森）

〒030-0802 青森市本町3丁目3-11 TEL 017-735-0551 FAX 017-735-0553

会長 塩谷 進

事業概要

1989年結成された「連合青森」（日本労働組合総連合会青森県連合会）は、「連合」の地方組織として、青森県内の30の産業別の組織が集まり、約39,000人の組合員で組織する県内最大の労働組合組織です。県内には6地域協議会を設置し、「地域に顔の見える運動」を展開しながら青森県で働く仲間と、働く人たちの生活向上や不安解消のために、労働者の視点から議会や行政に、政策や制度の提言、経営者団体への要請、政党・議員への働きかけなども行い、生活者・労働者目線での政策実現の取り組みを強化しています。

また、雇用先となる中小零細企業の活性化など、労働環境の整備や待遇改善に取り組みや「なんでも労働相談ダイヤル」を通じて、未組織労働者への支援を行い、平和運動、市民運動との連携など、多岐にわたる運動を展開しています。

そのほか、様々な問題を解決するために、最低賃金を決める審議会や労使紛争を解決する青森県労働委員会など、地域全体の勤労者に影響する大切な場での活動にも取り組んでいます。

東北労働金庫青森県本部

〒030-0802 青森市本町3丁目3-11 TEL017-777-6165 FAX017-777-8818



本部長

内村 隆志

事業概要

「ろうきん」は、労働組合や生協などの会員が、お互いに助け合うためにつくった日本で唯一の協同組織の福祉金融機関です。営利を目的とせず、会員がお互いに助け合うために資金を出し合い、利用し合うことで運営され、そこで生まれた利益は、便利な商品やサービスとして利用者に還元しています。お預かりしたお金は、はたらく人の暮らしを豊かにするために貸し出しています。

「ろうきん」は労働組合などの会員と連携し、「生活設計・生活改善・生活防衛」の3つの取り組みからなる「生活応援運動」で、はたらくみなさんの「お金」にまつわる問題に具体的な提案・アドバイスをを行い、暮らしをサポートしています。

東北の6つの労働金庫が統合して設立した東北労働金庫は、2023年に統合20周年を迎えました。預金・貸出金残高は設立以来年々増加しており、2024年1月末時点の預貸金実績は、預金2兆3,145億円、貸出金1兆4,022億円。青森県本部内では預金1,806億円、貸出金2,016億円となっています。東北全体で70店舗、青森県内では7店舗が営業しています。

労福協のマスコットキャラクター

きょうちゃん



Profile

- ★ 誕生日:2021年11月26日
- ★ 仲間とコミュニケーションをかわし、チームワークが良く、人と関わるのが好き

こくみん共済coop＜全労済＞青森推進本部

〒030-0802 青森市本町3丁目4-17 TEL017-723-6031 FAX017-734-0644



本部長

掛村 政則

事業概要

正式名称を「全国労働者共済生活協同組合連合会」といい、消費生活協同組合法（生協法）にもとづき、厚生労働省の認可を受けて設立された、共済事業を行う協同組合です。当会は、組合員の生活を守り、豊かな社会にしていくために共済事業を行っています。共済事業とは、私たちの生活を脅かすさまざまな危険（生命の危険や住宅災害・交通事故など）に対し、組合員相互にたすけあうという活動を、保険のしくみを使って確立した保障事業であり、労働者自主福祉事業で培ってきた事業と運動を強化・発展させながら、多様な組合員の生活場面に合わせ、誰一人取り残さない社会づくりを行っています。

青森県労働者福祉協議会、結成60周年を心よりお祝い申し上げます。
また、県内の労働者福祉運動発展のため、これまで運動を牽引されてきたことに敬意を表します。

私ども「こくみん共済coop」は、理念である「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」の実現のため、「共済」を通じて、人と人との「たすけあいの輪」をむすび「安心のネットワーク」をひろげてまいります。

貴会の理念である、「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくります」の実現のため、ともに活動を行うことをお誓い申し上げ、お祝いの挨拶といたします。

青森県生活協同組合連合会（青森県生協連）

〒038-0012 青森市柳川2丁目4-22 TEL017-766-1521 FAX017-766-3136



会長

菅原 正

事業概要

1957年7月4日、より「平和とよりよい暮らし」を実現していくために設立され、2023年12月時点で青森県内11生協が加盟しています。商品や消費に関わる事業、医療・福祉事業、共済・保障事業、大学生活支援、生活相談・貸付事業など組合員の多様なニーズに応えた事業を提供しつつ、組合員主体の多彩な取り組みを行っています。

青森県生協連は、青森県内の生協運動発展のための協同と連帯の組織として、交流・研修等を通じて会員生協が活動しやすい条件整備を行い、生協に対する県民の理解や共感を広げ、深めていく役割を果たしています。また、協同組合間や行政・大学・他団体等との連携や協同の行動を通して、地域のネットワークの一翼を担い、持続可能な開発目標（SDGs）の実現と、県民が安心してくらす地域共生社会づくりに貢献することをめざしています。2017年度より、日本コープ共済連のもとに弘前大学COIに参画し、県内一円での「健康づくり」を推進し、2021年度より「コープくらしのたすけあいの会」の利用対象を組合員から県民に広げるなど、県民を対象とした取り組みを、活動の担い手と協力体制を構築しながら推進しています。

一般財団法人青森県労働福祉会館

〒030-0802 青森市本町三丁目3番11号 TEL017-775-3751 FAX017-775-3752



理事長
金沢 秀樹

青森県労働者福祉協議会が創立60周年という節目を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。青森県労福協が創立から今日まで「福祉はひとつ」を合言葉に、勤労者福祉の充実・生活向上などを目指し、支え合い・助け合いの輪を地域に広げる活動に長年にわたって展開してこられたことに敬意を表します。この間も、取り組む課題は変遷し都度活動を展開してきましたが、次から次へ課題が発生し一向に安定した営みを迎えることができていない状況であります。「継続はちから」です。人々が生活するうえでは様々な課題が消滅することはありません。しかしながらそれらを解決していくのも人と人のつながりであります。当会館も青森県労福協を構成する一員として、継続して役職員一同より一層尽力して参る所存でありますので、更なるご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

青森県労福協が、労働者福祉運動の連携を強化し、地域とつながり、共助の輪を広げ、新時代を切り拓いて、ますますご発展されますことを心よりご祈念いたします。

事業概要

青森県内の勤労者および一般県民の福祉の向上と勤労者の社会的・経済的地位の向上に寄与することを目的に、次の事業をしています。

- 1. 労働者福祉会館の維持・運営に関する事業
- 2. 勤労者の地位および福祉の向上に関する公益目的事業
- 3. 職業紹介に関する事業

労福協のシンボルマーク



中央労福協では、1981(昭和56)年に労福協運動のイメージをシンボル化して定着させるため全国からマークを公募し、同年7月に左記シンボルマークを決定しました。

このマークは『人』という漢字をデザイン化したもので、簡潔で親しみやすさが重視され、中の輪は人と人の『和』を表しています。

役員名簿(10年間)

役員		選出団体/年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
【会長】	内村 隆志	連 合 青 森										
	塩谷 進	連 合 青 森										
【副会長】	石田 隆志	労 働 金 庫										
	米沼 一夫	こくみん共済coop<全労済>										
	相馬 寛人	労 福 会 館										
	平野 了三	県 生 協 連										
	掛村 政則	労 福 会 館										
	掛村 政則	こくみん共済coop<全労済>										
	金沢 秀樹	労 福 会 館										
	内村 隆志	労 働 金 庫										
【事務局長】	河野 久男	専 従										
	相馬 寛人	専 従										
【事務局次長】	赤坂 徹	こくみん共済coop<全労済>										
【幹事】	長嶺 渉	連 合 青 森										
	山本 広志	労 働 金 庫										
	前田 譲二	こくみん共済coop<全労済>										
	小野寺 静子	県 生 協 連										
	神 俊彦	労 働 金 庫										
	山内 裕幸	連 合 青 森										
	工藤 勝保	県 生 協 連										
	中山 直樹	労 働 金 庫										
	畑山 耕造	こくみん共済coop<全労済>										
	大澤 祥宏	連 合 青 森										
	柿崎 稔	労 働 金 庫										
	新倉 稔久	こくみん共済coop<全労済>										
	三浦 雅子	県 生 協 連										
	黒滝 一寿	労 働 金 庫										
【監事】	渡辺 邦弘	こくみん共済coop<全労済>										
	大塚 晃	こくみん共済coop<全労済>										
	立花 信之	労 働 金 庫										
	田中 良朋	労 働 金 庫										
	佐藤 竜	労 働 金 庫										
	山田 一成	労 働 金 庫										
	木立 芳人	労 働 金 庫										
	村井 健児	こくみん共済coop<全労済>										
	長谷川 信学	労 働 金 庫										
	小野 裕	労 働 金 庫										

労福協とは

労福協とは労働者福祉協議会の略で、中央段階に中央労福協、都道府県ごとに労福協が組織されています。労福協は、「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくれます」を理念に、日本の労働者福祉や社会保障制度の改善にむけて、関係団体と連携し取り組みをすすめています。

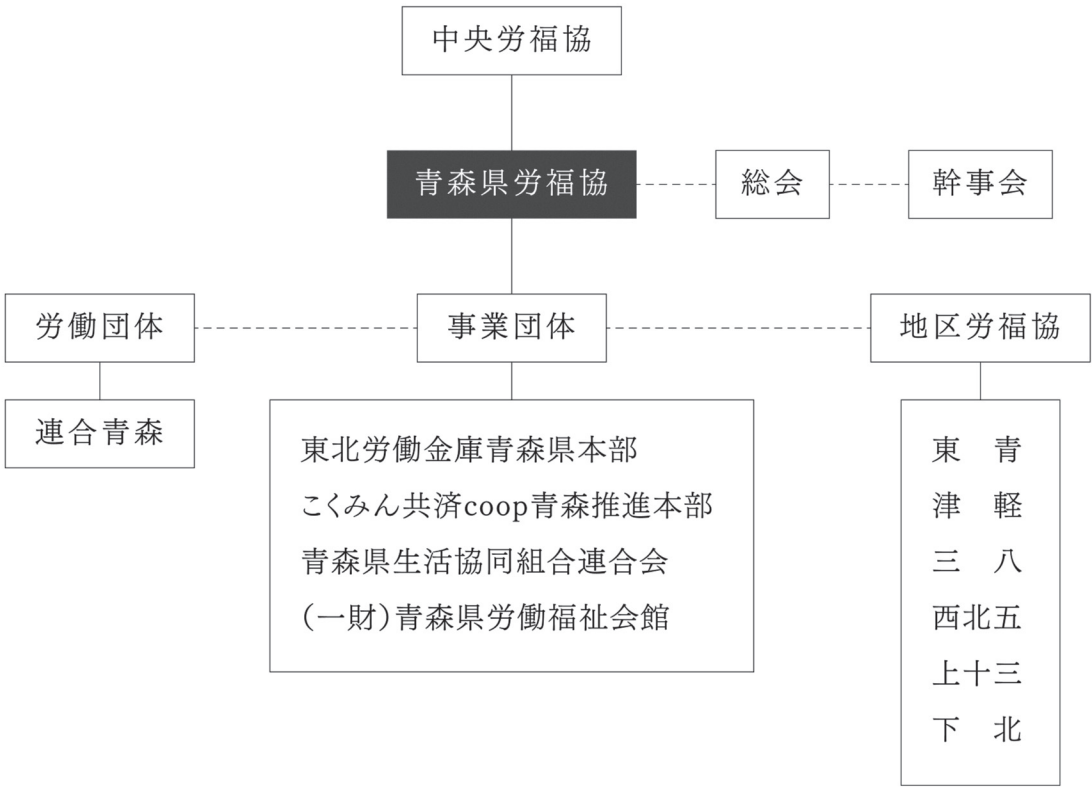
近年では、労働組合と労働者福祉事業団体との連携強化はもとより、重点的課題として「奨学金制度の改善」も「生活困窮者への支援強化」などを取り上げて取り組んでおり、それぞれの段階で連携し地域ごとの課題と合わせて勤労者の生活改善に向けた活動を展開しています。

現在、青森県労福協の加盟団体は、連合青森、東北労働金庫青森県本部、こくみん共済coop青森推進本部、青森県生協連、青森県労働福祉会館、地区労福協(東青、津軽、三八、西北五、上十三、下北)です。

青森県労福協では、①労働者福祉事業団体の利用促進に向けた学習会などの活動、②時事に即した課題に対する研究会、③生活困窮者の支援としての各地区子ども食堂などへの支援、④生活・就労支援事業を営む社会福祉法人への寄贈を目的とするチャリティーコンペ、などを展開しています。

また、働く多くの人々の生活に対する不安を解消し、勤労者と家族が豊かに生きがいある生活を送るための一助となるように「ライフサポート事業(生活なんでも相談ダイヤル)」も実施しています。

中央段階に中央労福協、都道府県ごとに労福協が組織され、青森県内で6つの地区に各地区労福協を設置しています。



60周年記念誌編集を終えて

結成60周年の節目の年を迎え、ここに記念誌を無事に発刊できたことを心よりうれしく思っています。

今回の記念誌作成にあたり50周年記念誌を参考にしながら、継続性を持たせる様に50周年以降10年間の出来事を掲載しました。特に「地区労福協の紹介」も記載し、県全体での活動を紹介しています。

青森県労働者福祉協議会は、1964年に結成され、青森県労福協を支えた諸先輩から引き継がれ現在に至っております。諸先輩方の功績とありがたみを考えると、60年間の歴史の意義の大きさを改めて痛感しております。

最後に記念誌作成の編集にあたり、ご尽力いただいた赤坂事務局次長、そして、お忙しい中、原稿をお寄せいただきました皆様方に心から感謝申し上げます。

青森県労働者福祉協議会
事務局長

相馬 寛人